

大会概要

期日：2020年1月26日（日）
会場：城里町総合野外センター ふれあいの里
茨城県東茨城郡城里町上入野 4384
主催：茨城シクロクロス 城里事務局
後援：茨城県 茨城新聞社 城里町 城里町教育委員会
協力：茨城県自転車競技連盟

大会スケジュール

別紙参照

大会役員

レースディレクター：田辺隆文
コースディレクター：田辺隆文
事務局代表：田辺隆文
救護：神原あかね
ドクター：
計測：南野道宏

コミッセール

チーフ：高橋和由
アシスタント：渡辺崇章
フィニッシュジャッジ：萩谷孝
計測：南野道宏
ピット：
アッシャー：中村一徳
セクレタリ：萩谷春枝
コミッセールパネル：高橋和由 中村一徳 南野道宏

受付

会場に到着しましたら、まず受付を済ませてください。
ボディナンバー（ゼッケン）と計測チップをお受け取り下さい。
競技者本人でなくても可能です。ただしライセンス必須カテゴリーについてはライセンスの提示が必要になります。

ボディナンバー/計測チップについて

ボディナンバーはあなたの周回数及び着順を掌握してもらうために取り付けてください。従って正しく取り付けていないと判定が困難となり、意と異なるリザルトとなります。

取り付けは必ず「安全ピン」を使用してください。最低4か所で留めてください。6カ所留めることを推奨します。安全ピンは各自持参してください。(推奨18個)

腕番号は「前方から確認できるように」 腰番号は「後方から確認できるように」取り付けてください。

ボディナンバー取り付けマニュアルをご参照ください。(別紙)

計測チップは足首に付属のマジックテープで確実に巻いてください。計測チップはリザルト作成において補助的なものとして活用しております。

シクロクロス大会における計測チップは「使い捨て」ではありませんので、必ず返却をお願いいたします。レースを途中棄権した場合は速やかに受付に返却をお願いいたします。

招集

各カテゴリーのスタート15分前から点呼を取ります。招集時間に遅れた場合は、招集係(アッシャー)に声をかけてください。順番に誘導いたします。

整列

アッシャーの指示でボディナンバー順に整列してください。

Category1及びCategoryL1については①UCIポイント②JCXポイント③AJOCCポイントの順でボディナンバーが付与されます。

その他のカテゴリー上位10名は①JCXポイント②関東地域で獲得したAJOCCポイント順となります。11番目からはAJOCCポイント順となります。AJOCCポイントを保有していない競技者はランダム順となります。

スタート

3分前 1分前 30秒前に予告があります。

スタートはホイッスルもしくは電子ブザーで行います。

両足もしくは片足を地面につけていなければなりません。

フライングした選手は失格となります。

周回遅れの扱いについて

すべてのカテゴリーで80%ルールを適用しません。従って周回遅れになっても走り続けることが出来ます。しかし、追いつかれた場合は完全に停車し、速い競技者に進路を譲らなければなりません。

先頭の選手が最終周回に入るとコントロールライン付近で鐘が鳴らされます。
あなたが鐘を鳴らされなくても、鐘を鳴らされた競技者に追い抜かれるとその周回で競技終了となります。必ずコントロールラインまで走り切ってください。

怪我や体調不良で自ら棄権する場合

近くの立哨員に「棄権を宣言」してください。その際は計測チップの返却をお願いいたします。

認定ゴール（フィニッシュ）について

先頭の選手が finish する直前にフィニッシュラインを通過した場合やメカトラなどにより、大幅に遅れてしまう場合は、レース進行の都合上、コース外に出ていただく場合がございます。この場合は「みなし finish」となり DNF とはなりません。

ピット（マテリアルポスト）について

ピットパスはありません。

ピット区割りはありません。譲り合ってご使用ください。

ピットクルーを用意できない場合は、スタート時刻 15 分前に機材の搬入をお願いいたします。また、レース終了後速やかに搬出をお願いいたします。長時間放置されている機材は大会側で移動させていただく場合がございます。ご了承ください。

表彰

各レース終了後上位 3 名が確定次第執り行います。

救護

1 名以上の看護師が待機しております。

傷害保険対応の手続きもございますので、受傷された場合は救護をご利用ください。

保険証の持参及び緊急連絡先について

受傷の程度により緊急連絡先への連絡が必要な場合が考えられます。緊急連絡先に対しては必ず連絡が取れる状態にしておくようお願いいたします。

機材

JCF 公認ヘルメットを正しく装着してください。

JCF 公認ヘルメットであっても傷のあるものや強い衝撃を受けた痕跡のあるものは使用できません。また、製造後 3 年を経過したものは本来の機能を発揮できない可能性があることから使用できません。

オフロード競技に耐えうる自転車を使用してください。下位カテゴリーについてはシクロクロス競技車両でなくても出走できますが、安全上の問題から最後尾スタートとなります。また、ドロップハンドルの自転車であってもタイヤ幅が 33mm を超えている場合は最後尾スタートとなる場合があります。

競技規則

UCI 及び JCF 競技規則に則り行います。